



アメリカの福祉施設を訪ねて〈その1〉

■ セントラル・パーク・ビレッジ(退職者コミュニティ)／フロリダ州オーランド



セントラル・パークビレッジの全景



セントラル・パークロッジのロビー



1Fにあるレストラン風の食堂

当施設は1981年にホテルだった建物を改修し、老人ホームとしてスタートさせた。敷地面積は6エーカー(7,200坪)の土地に2階建てのインディペンデント・リビングー自立生活施設、7階建てのインディペンデント・リビングとアシスティッド・リビングー補助的介護施設、西ウィングと東ウィングを持つ1階建てのスキルド・ナーシングケアー完全看護施設の3棟から成っている。現在、セントラル・パーク・ロッジ社が所有管理している。

入居者は日常生活のレベルにより、次の3つの施設に分けられる。1. インディペンデント・リビング(自立生活施設)は楽しい退職後の生活や同じ環境の中で同じような趣味を持った仲間たちとの友好を築くための施設。2. アシスティッド・リビング(補助的介護施設)はパーソナル・ケアの必要な人のための退職者施設。3. スキルド・ナーシングケア(完全看護施設)は24時間の完全ケアを必要とする人のための施設。職員はPT 1名、OT 1名、ST 1名、看護婦32名の計35名である。

以下は施設の内容である。

①インディペンデント・リビング（自立生活者用アパート）

住戸数：152戸

タイプ：ワンルームタイプ(STUDIO)

- ・\$ 995(¥125,370)/月
- ・LDに付随した台所、浴室、納戸付き
- ・18フィート×13.5フィート(5.4m×4.05m)
- 1ベッドルームタイプ(1 BEDROOM)
- ・\$ 1,410~1,760(¥177,660~221,760)/月
- ・1寝室、LD、厨房、浴室、納戸
(ワンルームの2倍の広さ)
- 2ベッドルームタイプ(2 BEDROOM)
- ・\$ 1,890~2,240(¥238,140~282,240)/月
- ・2寝室、LD、厨房、2浴室、2納戸
(ワンルームの3倍の広さ)

サービス：週1回の掃除、リンネル(敷布、シャツ等)、ウェイトレスサービスの食堂で3食利用可能(内昼食か夕食の1食分は契約に含まれている)買物、銀行、教会などへの送迎サービス、パーティーや工芸、趣味等の催物、民生活動部長による相談サービス。

※様々な催しに関わる入会金、寄付金は一切取らない。



ワンルームタイプの部屋



屋外プール



歌を合唱中の入居者たち

設備：フロント、郵便箱、ロビー、談話室(大型テレビを設置)、美容・理容室、図書室、食堂、ビリヤード・コーナー、趣味の部屋、パーティー室(催物や運動等に利用)、会議室(プライベート食堂に利用)、ゲストルーム(2室)、プール(温水競泳用、温水回転用)、シャッフルボード・コート(2面)。

②アシスティッド・リビング（パーソナル・ケア付き施設）

住戸数：24戸

タイプ：ワンルームタイプ/デラックス(STUDIO)

- ・\$ 1,020(¥128,520)
 - 1ベッドルームタイプ(1 BEDROOM)
 - ・\$ 1,090~1,830(¥137,340~230,580)/月
- ※すべて個室で、台所はない。

サービス：24時間体制の看護とパーソナルケアの提供、食堂での3食付き、毎日の掃除とリンネル、入浴と身支度の手伝い、全活動プログラム制、病院や各種活動への送迎。

③スキルド・ナーシング・ケア（完全看護施設）

住戸数：東ウィングー60床、西ウィングー60床、計120床

タイプ：プライベート……60床/\$ 1,750~2,135
(¥220,500~269,010)
セミプライベート……60床/\$ 1,480~1,830
(¥186,480~230,580)

※各部屋に浴室完備

サービス：24時間の有資格看護スタッフによるサービス、理学療法・作業療法の利用、3食の食事のサービス、相談サービス、日々の計画に基づいた活動。

(株)カワムラ・オルソペディック・アプライアンス 貿易部 大須賀



ヘルス・ケア・センター内の訓練室